

読むこと 指導のポイント

(その2)

～New Crown English Series USE Read を使って②～

「読むこと 指導のポイント（その1）」では、教科書 New Crown USE Read を使った「読むこと」の指導について以下のように触れました。

1 USE Read を使って身に付ける力は？

物語のあらすじや説明の大切な部分などを正確に読み取る力

2 大意を把握させるポイントは？

(1) 生徒が自分の力でじっくり長文を読み取る時間の確保

(2) トップダウンの読解（全体的な読み→細部の読み）

3 指導の流れは？

教科書を参考に Pre-reading → In-reading → Post-reading の流れで実施

今回は、New Crown USE Read を使った授業展開例を紹介します。シンプルな構成とし、教科書のタスクも最大限に活用しました。

授業展開の例（概要）

※メインの活動のみ記載

1 指導ページ New Crown English Course 2 Lesson 6 USE Read p.70～71

2 計画 2時間扱い

(1時間目) めあて：本文の大意を把握する。

段階	時間	・活動内容	○留意点等
Pre-Reading	1 5 (5)	・オーストラリアイメージマップ作り	
(1)オーストラリアについて (2)新出語句等確認	(10)	・新出語句や表現の意味確認及び発音練習	
In-Reading (黙読)	2 5 (10) (15)	・教科書 In-Reading タスク 1 ・教科書 In-Reading タスク 2 (1)～(5) ○それぞれ解答する前に、ペア、グループ等で読み取った結果などについて話し合わせる。タスク毎に行ってもよい。	
Reading (音読)	5	・CD で英文を聞き、その後音読練習	
Conclusion	5	・本日の学習内容の確認 ○教科書 Check を宿題にする。	

Pre-Reading では、背景知識を活性化させることを意識するとよいでしょう。メインの In-Reading では、教科書のタスクなどを参考に、生徒の実態に応じ、一部もしくは全てを日本語の質問にしたり、個別にヒントを与えたたりするなどの配慮も必要です。



(2時間目) めあて：本文をより深く把握する。

段階	時間	・活動内容 ○留意点等
Review	5	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句や表現の確認、練習 ・本文の内容に関する Q&A (1時間目に確認したもの) など
In-Reading	25	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 In-Reading タスク 3 ・本文から推測して答えるタスク (*注1) <p>○それぞれ解答する前に、ペア、グループ等で読み取った結果などについて話し合わせる。タスク毎に行ってよい。</p>
(1)In-Reading 3 (2)In-Reading 4 (3)Check	(5) (10) (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p.70~71 Check <p>○それぞれ解答する前に、ペア、グループ等で家庭で学習した結果などについて話し合ってよい。</p>
Post-Reading	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のリスニング
Reading (音読)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・CD で英文を聞き、その後音読練習
Conclusion	5	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の学習内容の確認 <p>○ワークブック等を宿題にする。</p>

*注1 本文から推測して答えるタスク

答えが本文ではなく、本文を読んで、答えを自ら判断しなければならない質問

例) • Why are the Anangu happy when many people visit Uluru? 等の質問

・このページの場合は、p.71 Try 等



2時間目は、1時間目より深い読みができるよう、推測して答える問い合わせ等を加えるとよいでしょう。

1文1文の訳や重要表現等については、別プリントなどで解説するとよいでしょう。どうしても確認したい場合は、展開例2時間目 Checkなどをを利用してポイントとなるもののみ解説しましょう。

分かりやすくするため、教科書のタスクを利用したシンプルなものにしました。指導時間も含め、各校の生徒の実態、題材の内容等に応じてアレンジしてください。